

5つの理由で考える

AHVが仮想化の最善の代替案である理由

1 移行、管理、拡張がシンプル

モダンでユーザーフレンドリー、かつNutanixクラウドプラットフォーム内のシンプルな管理を念頭に設計。さらに、Nutanix Moveでは、移行が直観的でスムーズになりました。

2 大規模なエコシステムを活用してVMとクラウドネイティブなワークロードをサポート

クラウドネイティブ環境内で従来型VMベースおよびコンテナ化アプリケーションのシームレスな統合を可能にして、ワークロードの機能または性能を全面的に犠牲にすることなく柔軟性を確保できます。

3 クラウド全体にまたがる完全なエンタープライズ機能セットを備えた、唯一のモダンなハイパーバイザー

生成AIワークロードを含む、アプリケーションとデータのモビリティをハイブリッドマルチクラウド環境全体で促進し、クラウド運用モデルを最大限に活用します。

4 あらゆる場所でAIワークロードを実行できる

完全なデータプライバシーおよびコントロールを実現しながら、エンタープライズコア、エッジ、そしてパブリッククラウド全体にまたがるあらゆる場所で最新のAIアプリケーションを展開・実行できます。

5 セキュリティ・バイ・デザイン、そして安全な運用

ビルトインされた包括的なセキュリティ対策、データ保護、そしてプライバシー機能によって、データとアプリケーションの堅牢なデータ保護を備えたNISTとゼロトラストなどの主要なアーキテクチャーを活用できます。